

第4章 目黒区環境マネジメントシステムの取組み

事業者等が自主的に環境保全に関する取組みを進めるにあたり、環境方針や目標を自ら設定し、これらの達成に向けて取り組んでいくための仕組みを「環境マネジメントシステム」といいます。

本章では、目黒区の環境マネジメントシステムである「目黒区地球温暖化対策推進実行計画（めぐろエコ・プラン）」における2013（平成25）年度の取組み実績と、取組みに対する評価について報告します。

目黒区地球温暖化対策推進実行計画（めぐろエコ・プラン）

～低炭素社会実現に向けた目黒区率先行動計画～

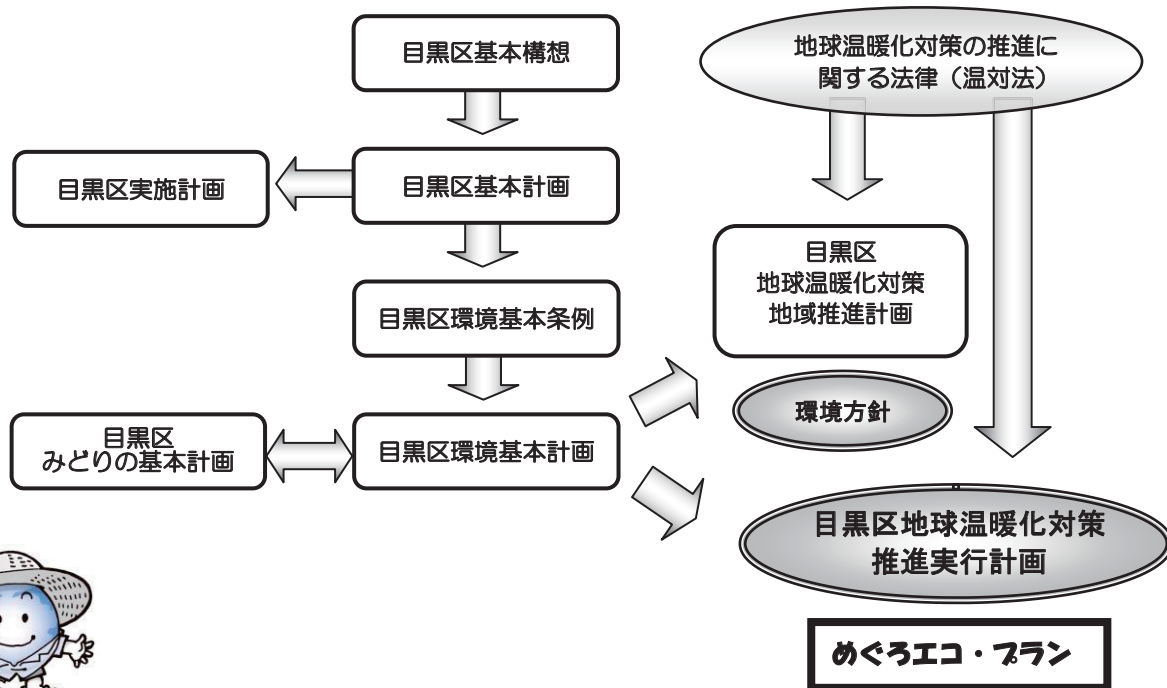
区は、最も身近な自治体として、また区内における大規模な事業所の1つとして、率先して地球温暖化対策に取り組んでいます。

2009（平成21）年4月には、それまで取り組んできた「ISO14001¹」と「新エコ・アクションプログラムめぐろⅡ²」を発展的に解消し、区有施設のすべてを対象とした「目黒区地球温暖化対策推進実行計画（めぐろエコ・プラン）」を策定しました。

この計画は、低炭素社会実現に向けた温室効果ガス排出量を削減するための総合的な仕組みであるとともに、循環型社会実現に向けた環境負荷低減に資する取組みの推進を図るもので、「地球温暖化対策の推進に関する法律」第20条の3第1項に規定する「地方公共団体実行計画」です。



<めぐろエコ・プラン ポケットブック>



<目黒区地球温暖化対策推進実行計画（めぐろエコ・プラン）の位置づけ>

¹ ISO14001：環境に関する国際標準規格。

² 新エコ・アクションプログラムめぐろⅡ：2006（平成18）年3月に策定した目黒区独自の「地球温暖化対策推進地方公共団体実行計画」。



「目黒区地球温暖化対策推進実行計画（めぐろエコ・プラン）」

〔目 標〕 区の事務事業に伴い排出される温室効果ガスの排出量を、2005(平成17)年度を基準として、目標年度の2013(平成25)年度において6%以上削減します。

〔期 間〕 2009(平成21)年度から2013(平成25)年度までの5年間

〔対象範囲〕 総合庁舎、庁外施設等を含めた区有施設のすべて
(ただし、区営住宅等個別の利用者が光熱水費を負担している施設は除く)

〔取 組 み〕

- ・大規模施設における省エネルギー活動の推進
- ・小規模施設における事業特性を活かした省エネルギー活動の推進
- ・日常業務でのエコオフィス活動の推進
- ・省エネルギー機器の段階的導入
- ・新築、改築、改修時における省エネルギー・新エネルギー設備の導入
- ・低燃費車の導入
- ・温室効果ガス吸収作用の保全・創出

〔管理対象〕 6種類の温室効果ガスのうち、総排出量の95%以上(区の事務事業においては98%)を占める二酸化炭素を対象としています。

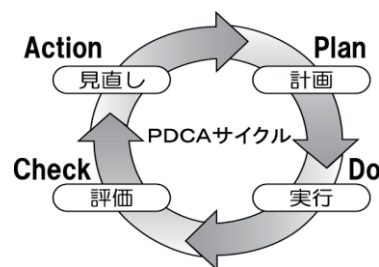
①二酸化炭素排出量等算定項目

- ・電気、都市ガス、化石燃料(ガソリン、灯油、軽油、重油、LPG等)
- ・水道(下水道)

②二酸化炭素排出量算定外項目

- ・ごみ排出量
- ・紙使用量
- ・グリーン購入
- ・省エネルギー機器の導入量

本計画では、Plan(計画)、Do(実行)、Check(評価)、Action(見直し)のPDCAサイクルによるマネジメントシステムを活用し、組織的な進行管理と継続的改善を行います。



2013(平成25)年度の取組み結果

区有施設のすべてを対象として、低炭素社会実現に向けた総合的な温室効果ガスの削減と循環型社会実現に向けたエネルギー使用量の削減やごみの減量等環境負荷の低減の取組みを進めました。

● 温室効果ガス(二酸化炭素)排出量の削減

■ 温室効果ガス(二酸化炭素)の排出状況

温室効果ガスの排出量は、2005(平成17)年度を基準とし、2013(平成25)年度において6%以上削減することを目標に掲げています。2013(平成25)年度の総排出量は19,483 t-CO₂であり、対2012(平成24)年度比で+1.2%、対基準年度比では-9.7%で目標を達成することができました。

排出源別に見ると、電気(64.7%)、次いで都市ガス(30.8%)となっており、上位2項目で95%を占めています。このことから、温室効果ガスの排出量の削減には、電気・ガスの使用量を削減することが重要であるといえます。



＜二酸化炭素総排出量と内訳＞

(単位：t-CO₂)

区分	2005 (平成17) 年度 (基準年)	2011 (平成23) 年度	2012 (平成24) 年度	2013 (平成25) 年度	対基準年度比	
総排出量	21,566	18,879	19,248	19,483	-9.7%	
内訳	電気	13,880	11,974	12,383	12,607	-9.2%
	都市ガス	6,727	6,044	6,034	5,992	-10.9%
	水道	145	146	150	155	6.9%
	下水道	398	401	408	416	4.5%
	化石燃料	394	296	255	293	-25.6%
	その他	22	19	18	19	-13.6%

* 化石燃料：ガソリン、LPG、CNG、軽油、灯油、重油など

* その他：自動車走行距離などから算出したメタンや一酸化二窒素を二酸化炭素に換算

* 各区分の数値は、四捨五入しているため、合計と異なることがある。算出にあたっては、東京都地球温暖化対策指針（2005(平成17)年4月1日）による排出係数を使用した。

＜電気、都市ガス、水道、下水道、ガソリンの使用量内訳＞

区分	2005 (平成17) 年度 (基準年)	2011 (平成23) 年度	2012 (平成24) 年度	2013 (平成25) 年度	対基準年度比
電気(千kWh)	35,958	31,021	32,081	32,661	-9.2%
都市ガス(千m ³)	3,191	2,867	2,862	2,842	-10.9%
水道(千m ³)	763	768	793	816	+6.9%
下水道(千m ³)	778	785	799	815	+4.8%
ガソリン(千ℓ)	55	44	38	48	-12.7%

* ガソリンは使用量ではなく購入量

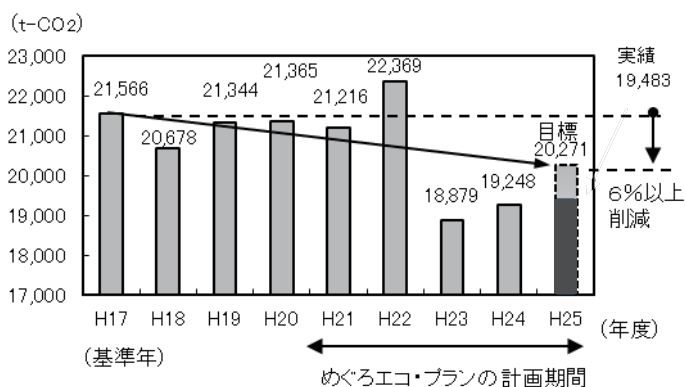


トピックス

二酸化炭素排出量の推移

基準年以降2010(平成22)年度までは、多少の増減はあるもののほぼ横ばいで推移していましたが、震災後の節電対策等により、2011(平成23)年度には前年度比で15.6%の減となりました。2013(平成25)年度は、基準年度比で9.7%の削減で目標の6%以上の削減は達成しました。

＜二酸化炭素排出量の推移＞



■ 温室効果ガス削減に向けた取組み

◆ 新エネルギー・省エネルギー機器等の導入

2013(平成25)年度も2012(平成24)年度に引き続き、区有施設において、新築及び改修時に省エネ性能の高い照明や空調機等の省エネルギー機器の導入等を行いました。

① 施設の新築・大規模改修

施設名	導入した新エネルギー・省エネルギー機器
区営中町一丁目アパート	高効率給湯器、節水器具、LED 建築：複層ガラス

② 施設の小規模改修における新エネルギー・省エネルギー機器の導入等

施設名	導入した新エネルギー・省エネルギー機器
中目黒スクエア	トップランナー熱源機器
総合庁舎	トップランナーエアコン
油面住区センター	人感センサー、LED、LED誘導灯
中根住区センター	トップランナーエアコン、全熱交換器、人感センサー、LED、LED誘導灯
目黒区美術館	LED
碑文谷体育館	トップランナー変圧器
かみよん工房	トップランナーエアコン
不動児童館	トップランナーエアコン、全熱交換器
ハヶ岳林間学園	トップランナーエアコン
中目黒小学校他8校職員室等 (油面小、向原小、上目黒小、一中、三中、十中、十一中、東山中)	LED
げっこうはらこども園	トップランナーエアコン、全熱交換器、高効率給湯器、節水器具、トップランナー変圧器、人感センサー、LED、LED誘導灯
東山地区センター	LED

*LEDは、ベース一体型、直管型、高天井用、ダウンライト、スポットライトを含みます。

◆ 緑化の推進

温室効果ガスの吸収作用の保全・創出を図るために、区施設の新築、改築時等に緑化を行いました。2013(平成25)年度は、4施設に計1,215m²実施しました。

施設名	緑化形式	緑化面積
九品仏川緑道	樹木・草地緑化	234m ²
九品仏川緑道、呑川本流緑道	樹木・草地緑化	367m ²
区営中町一丁目アパート	樹木・草地緑化	522m ²
緑が丘駅前公衆便所	樹木・草地緑化	92m ²
合計		1,215m ²

* 緑化面積は、小数点以下四捨五入

◆ 啓発等

職員を対象とした環境研修の実施（開催5回、参加人数625人）や啓発ポスターの作成・掲示を行うことで、職員の意識啓発を図りました。また、エコオフィス活動や地球温暖化対策の関連情報をわかりやすく提供する「めぐろエコ・プラン通信」を作成して、庁内メールで発信しました。

● 環境負荷の低減に向けた取組み

■ ごみの排出量と紙の使用量

「ごみの排出量」と「紙の使用量」は、2009(平成21)年度から、計画年度中の前年度以下に減らすことを目標としています。2013(平成25)年度は、2012(平成24)年度と比較すると、ごみの排出量と紙の使用量は減少し、目標を達成することができました。

＜ごみの排出量＞

(単位：t)

区分	2010 (平成22) 年度	2011 (平成23) 年度	2012 (平成24) 年度	2013 (平成25) 年度	対前年度比
排出量	1,108	1,218	1,268	1,174	-7%
内訳	燃やすごみ	931	1,031	1,077	-7%
	燃やさないごみ	144	149	166	-11%
	資源	34	38	25	-8%

＜紙の使用量＞

(単位：万枚)

区分	2010 (平成22) 年度	2011 (平成23) 年度	2012 (平成24) 年度	2013 (平成25) 年度	対前年度比
用紙の購入量	4,197	4,517	4,429	4,217	-5%
外注印刷物	5,167	5,267	5,232	5,211	0%

* 紙はA4サイズに換算しています。

● 目黒区地球温暖化対策推進実行計画の改定

「目黒区地球温暖化対策推進実行計画（めぐろエコ・プラン）」は、計画期間が2013(平成25)年度末で満了することから、2014(平成26)年度以降の温室効果ガス削減目標や具体的取組みについて定め、区が暮らしに身近な基礎自治体として、また区内の大規模な事業所の一つとして、具体的な行動を区民や事業者に示し、率先して低炭素社会・循環型社会実現の牽引役となっていくために、「目黒区地球温暖化対策推進第二次実行計画（めぐろエコ・プランⅡ）」として改定しました。

2013（平成25）年度の実績結果に対する評価

区民と学識経験者からなる第三者評価委員会が、めぐろエコ・プランの2013(平成25)年度取組み結果について評価しました。評価結果を踏まえ、今後も環境負荷の低減に努めていきます。

（取組み全体に対する意見）

全般的には、温室効果ガス排出量削減とそれに向けた取組みは優れている。この取組みを今後も継続し、温室効果ガス排出量を増加させないように努めていくことが大切である。